

VII. 実証試験結果報告書の作成

実証試験の結果は、実証試験結果報告書としてとりまとめる。

実証試験結果報告書のドラフトは、実証機関、実証試験機関、実証申請者等によってレビューする。最終の実証試験結果報告書は、技術実証委員会での検討後、実証機関に提出する。

実証試験結果報告書には以下の内容を含むこととする。また、実証試験結果報告書の要約版も作成する。

- 概要
- 背景と目的
- 山岳トイレし尿処理技術の特性と説明
- 実証試験のプロセス
- 実証技術製造者（組織名、代表社名、担当者名、所在、連絡先等）
- 実証試験技術概要
- 試験場所、試験期間等
- 実証試験の条件設定と配置
- 実証試験体制（維持管理体制を含む）
- 実証試験方法
- 各実証項目の内容と採取方法、試料採取条件、測定結果
- 試験条件の日常的記録
- 試料分析手法
- 試料分析結果と考察
- 実証試験結果と検討
- 参考文献等
- 付録（実証試験計画、実証申請者の提供する資料、試料管理・分析手法、監視・メンテナンス記録等）

資料1. 山岳トイレし尿処理技術実証申請書

1. 申請者

企業名	印
住所	〒
連絡先	TEL FAX
E-mail	
担当者名	
所属	

2. 申請装置概要

項目	記入欄
装置名称	
し尿処理方式	①生物処理 ②化学処理 ③土壌処理 ④乾燥・焼却処理 ⑤コンポスト処理 ⑥その他 ()
型番	
製造企業名	
連絡先	担当者 :
	TEL FAX
	E-mail :
価格 (円)	
設置条件	水 : (①十分な量が必要・②初期水のみで可 (t) ・③不要) ※補充水量 (t / 月)
	電気 : (①必要 (kWh/d) ・②不要)
	道路 : (①必要 ・ ②不要)
使用燃料	燃料の種類 ()、消費量 ($\frac{kg}{Nm^3}$ / 月)
使用資材	資材の種類 ()、消費量 ($\frac{kg}{Nm^3}$ / 月)
温度	適正稼動が可能な気温 (°C)
装置タイプ	トイレと処理装置が (①一体型 ・ ②隣接型)

サイズ	一体型の場合：w	mm×d	mm×h	mm
	隣設型の場合：w (処理装置のみ)	mm×d	mm×h	mm
重量	一体型の場合： 隣設型の場合：	t t (処理装置のみ)		
処理能力	平常時 利用集中時 ※し尿原単位を（	人回／日（ 人回／日（	リットル／日) リットル／日)	
最終処分方法				
保証期間	年			
償却期間	年			
ランニングコスト	円／月			
納入実績	ヶ所			
その他 (特記事項)				

※本申請書に添付する書類

- 構造・機能説明書
- 設計基準
- 標準設計図
- 設置実績資料
- 自社による試験結果（試験の詳細な条件を含む）
- 日常管理者への取扱説明書
- 施工要領書
- 専門管理者への維持管理要領書
- 設置条件
- 実証試験地に関する資料
- 会社概要
- その他、必要な資料

資料2. 実証試験計画

実証試験計画の作成にあたっては、技術実証委員会の検討・助言を得て、実証申請者と十分協議することが必要である。実証試験計画の内容は、試験場所や対象技術によって異なる部分もあるが、最低限、以下の内容について作成しなければならない。

1. 表紙、実証試験参加者の承認、目次
2. 実証試験の概要と目的
3. 実証試験参加組織と実証試験参加者の役割分担、実施体制と責任分掌
4. 実証試験の対象となる山岳トイレし尿処理技術の概要
 - 当該技術の一般的特徴と技術概要
 - 従来技術との違い（処理性能、周辺環境影響等、メリット・デメリット）
 - 構造・機能説明書
 - 設計基準
 - 標準設計図
 - 設置実績資料
 - 自社による試験結果
 - 日常管理者への取扱説明書
 - 施工要領書
 - 専門管理者への維持管理要領書
 - 設置条件
 - 実証試験地に関する資料
 - 会社概要
 - その他、必要な資料

実証申請者は、装置の全ての構成部分の読みやすい位置に、データプレートを添付しなければならない。データプレートには以下が示されなければならない。

- 装置名称
- モデル・製造番号等
- 実証申請者の社名と住所・担当者名、緊急連絡先
- 電源電圧、相数、電流、周波数
- 搬送・取り扱い時の注意事項
- 認識しやすく、読みやすい注意書きまたは警告文
- 処理能力等

5. 実証試験の方法

(1) 処理性能・周辺環境影響実証の方法

- 実証項目
- 試料採取者
- 試料採取頻度、体制
- 試料採取手法
- 試料採取装置
- 試料の保存方法
- 分析の種類
- 分析を実施する体制・場所の詳細
- 分析手法・装置
- 分析スケジュール
- 文書化方法

(2) 運営・維持管理の実証の方法

- 日常的維持管理・専門的維持管理
 - ・ 担当者・組織
 - ・ 維持管理スケジュール・時間・人数・体制
 - ・ 作業内容
 - ・ 調査項目
 - ・ 記録様式

6. 添付資料

実証試験計画には、次の資料を添付すること。

- 専門管理者への維持管理要領書
- 日常管理者への取扱説明書
- 衛生・安全管理計画
- 参考となるその他の文書やデータ等

資料3. 平成15年環境技術実証モデル事業検討会

山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

柏原 一正	(有)鹿島槍観光開発 (冷池山荘、種池山荘、新越乗越山荘)
桜井 敏郎	三井鉱山(株)環境事業本部技術顧問
鈴木 富雄	長野県衛生公害研究所主任研究員
船水 尚行	北海道大学大学院工学研究科助教授
森 武昭	神奈川工科大学電気電子工学科教授
吉田 孝男	NPO環境資源保全研究会代表
渡辺 孝雄	(財)日本環境整備教育センター調査研究部統括研究員

(50音順、敬称略)

[事務局 (環境省)]

塚腰 光男	自然環境局自然環境整備課課長
櫻井 洋一	自然環境局自然環境整備課課長補佐
石垣 泰夫	自然環境局自然環境整備課技術専門官
木野 修宏	総合環境政策局環境研究技術室調整専門官
新屋 孝文	廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課浄化槽推進室指導普及係長

[事務局 (株式会社地域交流センター企画)]

上 幸雄	トイレ調査計画部 部長 (取締役)
原田 雄美	トイレ調査計画部 次長
加藤 篤	トイレ調査計画部 主任研究員